指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

	施設所管課	市民部　文化振興課

施　設　名	大津市伝統芸能会館
指定管理者	株式会社 コンベンションリンケージ
指定期間	令和7年4月1日　～　令和12年3月31日
指定管理料	年額13，550，000円 （令和7年度）　（総額67，750，000円）
設置目的	伝統的な古典芸能の保護、育成、継承を図り、もって市民の文化の向上及び発展に寄与する。
業務内容	(1)伝統芸能の保護、育成、継承に関することを目的とする事業。 (2)市民の文化振興のための機会及び場所の提供に関する事業。 (3)その他市長が必要と認める事業。

所管課総合評価	Ⅰ～Ⅳによる総合評価	総合評価コメント
	B （良好）	指定自主事業、自主事業ともに事業計画に沿って概ね実施していただいた。人気の公演が複数あり、安定した自主事業を運営している。 市主催の「伝統文化親子1日体験教室」と「源氏物語関連事業」では、協力頂けたお陰で、参加者の満足度の高い事業を行う事ができた。 公演やワークショップでは、客層が固定化されている課題もあるため、SNS等の新しい広告媒体を活用して、今後も親しみやすい公演を継続しながら、伝統芸能に対する市民の興味関心を向上させていただきたい。

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅰ実施体制	**施設の設置目的の達成** □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	A （優良）	設置目的を把握し、管理運営に努めた。	B （良好）	設置目的を十分に理解して管理運営を行った。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B （良好）	適正な職員配置および勤務状況に努めた。	B （良好）	適切に職員を確保、配置している。
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B （良好）	必要な研修、習得を日常業務内で実施。	B （良好）	適切に実施されている。
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B （良好）	関係法令、条例等を遵守した。	B （良好）	関係法令、条例等を遵守した。
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B （良好）	協定書に基づき適切に取り扱っている。	B （良好）	協定書に基づき適切に行った。
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B （良好）	適切に整備し、記録保管を行っている。	B （良好）	業務日誌、設備点検結果等を適切に記録、保管した。
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B （良好）	連絡、調整を適切に行い、必要な報告書を提出した。	B （良好）	連絡・調整を適切に行い、報告についても適正に行った。
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B （良好）	緊急時連絡体制を整備し連絡、報告を速やかに実施。	B （良好）	緊急時の連絡体制を確保するとともに、緊急時のマニュアルも整備している。
	《Ⅰ総　括》　業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ内容・水準	**施設管理** □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	A（優良）	開館日、開館時間を遵守し事故防止、安全管理に努めた。	B（良好）	開館日、開館時間を遵守し、利用者の事故防止に必要な対策を講じた。
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B（良好）	利用者数は前年同期比で微減、ホール稼働率は30%でやや減	B（良好）	利用者数・利用率の向上に努めている。
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の応対は迅速かつ適切に行ったか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B（良好）	適切な接遇・接客を行っている。	B（良好）	職員の応対、接遇、備品等の提供を適切に行った。
	業務運営（全体） □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	A（優良）	体験教室や狂言ワークショップなど市民参加の活動に努めた。	B（良好）	概ね計画通りであり、積極的に取り組まれている。
	自主事業運営 □ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B（良好）	今期は参加型の催しに注力している。	B（良好）	計画どおり実施できている。
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理（点検・修繕）を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B（良好）	日常の保守、清掃、警備および定期点検は適切に実施。備品の修繕管理に留意。	B（良好）	施設の保守管理を計画的に行った。
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B（良好）	事業や催事案内、ホームページの管理更新を適切に実施した。	B（良好）	ホームページの管理を適切に行った。
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B（良好）	光熱費節減、紙ごみの削減に努めた。	B（良好）	省エネの取り組みを続け光熱水費の削減に努めた。
	ユニバーサルデザイン等への配慮 □ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対しての合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B（良好）	障害者に対しての配慮に努めた。	B（良好）	バリアフリー整備されていない箇所については、人的対応する等、合理的配慮に努めている。
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B（良好）	毎日のチェックシートのほか利用者、来場者の要望や意見の把握に努めた。	B（良好）	ご意見箱により、利用者の要望を把握するよう努めている。
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B（良好）	自主事業のアンケートを実施し、来場者の要望や苦情は適宜ヒアリングを行った。	B（良好）	自主事業のアンケートを行っており、概ね実施できている。
	《Ⅱ総　括》　業務の内容・水準に関する評価 【標準11項目／当施設11項目】		B（良好）		B（良好）	
Ⅲ収支等	**経理事務** □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B（良好）	入出金管理、現金管理、料金徴収ほか経理全般で適切に処理した。	B（良好）	適切に経理事務を行い、指定管理料を適正に執行した。
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入―支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B（良好）	収支はマイナスとなったが、予算と決算との比較では大幅な差はなかった。	B（良好）	目標には達していないが、妥当な収支状況である。
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B（良好）	経費削減、省エネなど委託業者に協力依頼。	B（良好）	委託業務の見直しなどで経費の削減に努めている。
	《Ⅲ総　括》　経費の収支等に関する評価 【標準3項目／当施設3項目】		B（良好）		B（良好）	
Ⅳその他（独自の取組等）	**その他** □ 努力事項として掲げた市民や文化団体等との連携を推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B（良好）	市民参加型の狂言ワークショップを実施した。	B（良好）	大津市主催の事業に協力いただけた。引き続き自主事業の中で、市民や文化団体等との連携を実施されたい。
	《Ⅳ総　括》　その他に関する評価 【当施設1項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

主な成果（全体）

使用料（利用料）	目標	2,000,000 円	⇒	実績	1,885,792 円
稼働率	目標	40 %	⇒	実績	35 %（年平均ホール 30 % 和室他 39 %）
利用者数	目標	15,000 人	⇒	実績	11,294 人

【指定管理者コメント】

・稼働率、来場者数は目標より少し下回ったが、体験型の催しを実施するなど、より伝統芸能会館を知ってもらえるような取り組みを行うことができた。
・今後も、新しい客層に来館してもらえるよう事業の企画や広報に取り組んでいく。

【施設所管課コメント】

利用者数が目標値を下回ったものの、工夫しながら事業の企画を行い、伝統芸能会館を生かした取り組みを行っている。今後も利用者数が伸びる事業企画や広報に努めていただきたい。

自主事業実施による成果

＜主な自主事業の実施状況＞

事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況（実施・追加・未実施）	特記事項（「未実施」の場合はその理由）
能楽公演「蝉丸」「大原御幸」「松風」「絵馬」	指定自主事業	開館30周年記念で、魅力ある能楽師の競演で4作品を実施。馴染みのある演目や親子競演、華やかな新春公演と多彩な年間構成。	実施	前半の2公演は満席だったが、依然若い層へのアプローチが課題。
落語「桂吉弥独演会」	自主事業	新春恒例となった「吉例、吉弥の独演会」一門の桂しん吉、桂米舞と共に吉弥の話芸が堪能できる落語会。	実施	新春恒例の落語会として認知されている。
落語「第32回大津はつらつ寄席」	自主事業	「三風改メ五代目『桂慶枝』襲名披露公演」で東京から林家花緑師匠を迎えた特別落語会。両人の個性的な話芸や対談が存分に楽しめる構成。	実施	はつらつ寄席ファンも多いが、若い層の集客が課題。
落語『三遊亭わん丈独演会』	自主事業	真打昇進後久々の大津での独演会。もちネタでもあり評判の「牡丹灯籠　全編通し」演目を披露する落語会。ゲストに新進気鋭の三味線の多田智大も登場。	実施	本格的江戸落語が楽しめる企画として今後も検討。
第26回『わたしの打った能面』展	自主事業	5月連休の恒例「わたしの打った能面展」26回目を実施。個性豊かな56面の能面がロビーで展示されたほか、舞台では素謡、連吟や舞囃子が披露された。	実施	5月連休の催事として定着している。「はじめての能面制作」ワークショップからの参加作品も展示される。
夏休み「能楽囃子体験教室」	自主事業	夏休み伝統芸能体験教室として、今回は「能囃子体験」を実施。京都能楽囃子方協会の先生方により、小鼓、大鼓、太鼓の実際を体験する。	実施	親子参加での、能楽体験は参加者集めが厳しいが毎年地道に継続するに。
『狂言☆ワークショップ』	自主事業	茂山宗彦先生による本格的狂言ワークショップ。9月から募集、11月より全10回の講座で、狂言「しびり」に挑戦。3月10日に成果発表を行う。	実施	参加者からも講師からも好評で今年度も実施を検討。

【指定管理者コメント】

・狂言ワークショップが内容的にも良かった。体験会やワークショップは広報や募集方法を検討する必要がある。

【施設所管課コメント】

人気のある公演を行って頂けたお陰で、会場が埋まるような公演をして頂けた。一度にたくさんの観客を入れる事ができないため、人気のある公演を行っても観客を取りこぼしてしまう課題がある。
狂言のワークショップは好評のため、引続き続けて頂きたい。

課題及び課題解決の結果

【指定管理者コメント】

・能楽は演目によって来場者数が大きく変わるため、年配のファン層と若い層へのアプローチを今後検討していきたい。

【施設所管課コメント】

利用者の増加に向けて、SNSや新しい広告媒体等の活用による情報発信を積極的に行っていただきたい。

特記事項等

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準（A～D）は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

